

相馬福島道路（そうまふくしま 霊山道路りょうぜん）
「こんべんぞう金弁蔵トンネル（仮称）貫通式」のお知らせ
～霊山道路7トンネルのうち3番目の貫通～

この度、平成29年度の開通に向けて工事を進めている相馬福島道路（霊山道路）の「金弁蔵トンネル（仮称）」（延長626m）が貫通することになりました。

つきましては、3月14日に下記の通り貫通式を執り行うこととなりましたのでお知らせいたします。

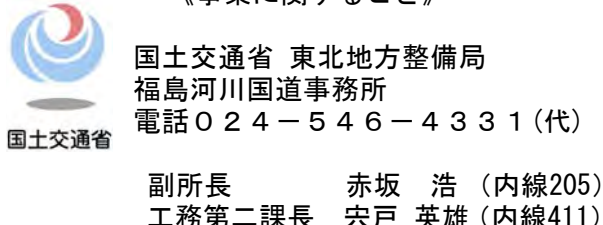
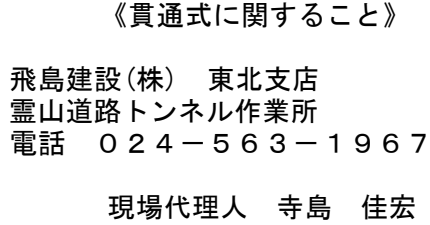
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。

記

- 日時：平成27年3月14日（土曜日）10：30～11：50
- 場所：福島県伊達市霊山町石田字金弁蔵 地内
（金弁蔵トンネル坑内）
※集合場所は別紙1のとおり福島側坑口に10：00まで
（マイクロバスで式典会場まで移動します）
- 主催：飛鳥建設（株） 東北支店
- 式典内容：別紙2のとおり
- 金弁蔵トンネル（仮称）の概要
延長：626m
幅員：12.0m(1.75+3.5+1.5+3.5+1.75)
車線数：2車線
工事期間：平成25年2月13日～平成27年8月末（予定）
掘削工法：補助ベンチ付全断面掘削工法
施工者：飛鳥建設（株） 東北支店

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問 い 合 わ せ 先	
	

金井蔵トンネル工事現場
(集合場所: 福島側坑口10:00まで)



金弁蔵トンネル（仮称）貫通式

日時 平成27年3月14日（土）

10：30～11：50

会場 金弁蔵トンネル坑内

（伊達市霊山町石田字金弁蔵 地内）

主催 飛島建設（株） 東北支店

次 第

- 一、開 式
- 一、貫通準備
- 一、貫 通
- 一、貫通報告
- 一、貫通点清めの儀
- 一、貫通握手の儀
- 一、発注者祝辞
- 一、来賓祝辞
- 一、施工者謝辞
- 一、神酒みこし・子供みこし（石田小学校）
- 一、鏡開きの儀
- 一、乾 杯
- 一、万歳三唱
- 一、閉 式

【その他】

石田小学校の児童を対象とした現場見学会

貫通式典では、地元の石田小学校の児童による子供みこしを予定しています。
貫通式に先がけて、平成27年2月20日(金)に石田小学校の児童20名(1年～6年生)を招待して見学会を開催しましたので、ご紹介します。

■見学会の状況等



▲トンネル施工機械の見学状況



▲トンネル掘削最前線の見学状況



▲ロックボルトにキャップを取り付け
キャップには事前に絵を描いていただきました



▲トンネル坑内で記念撮影

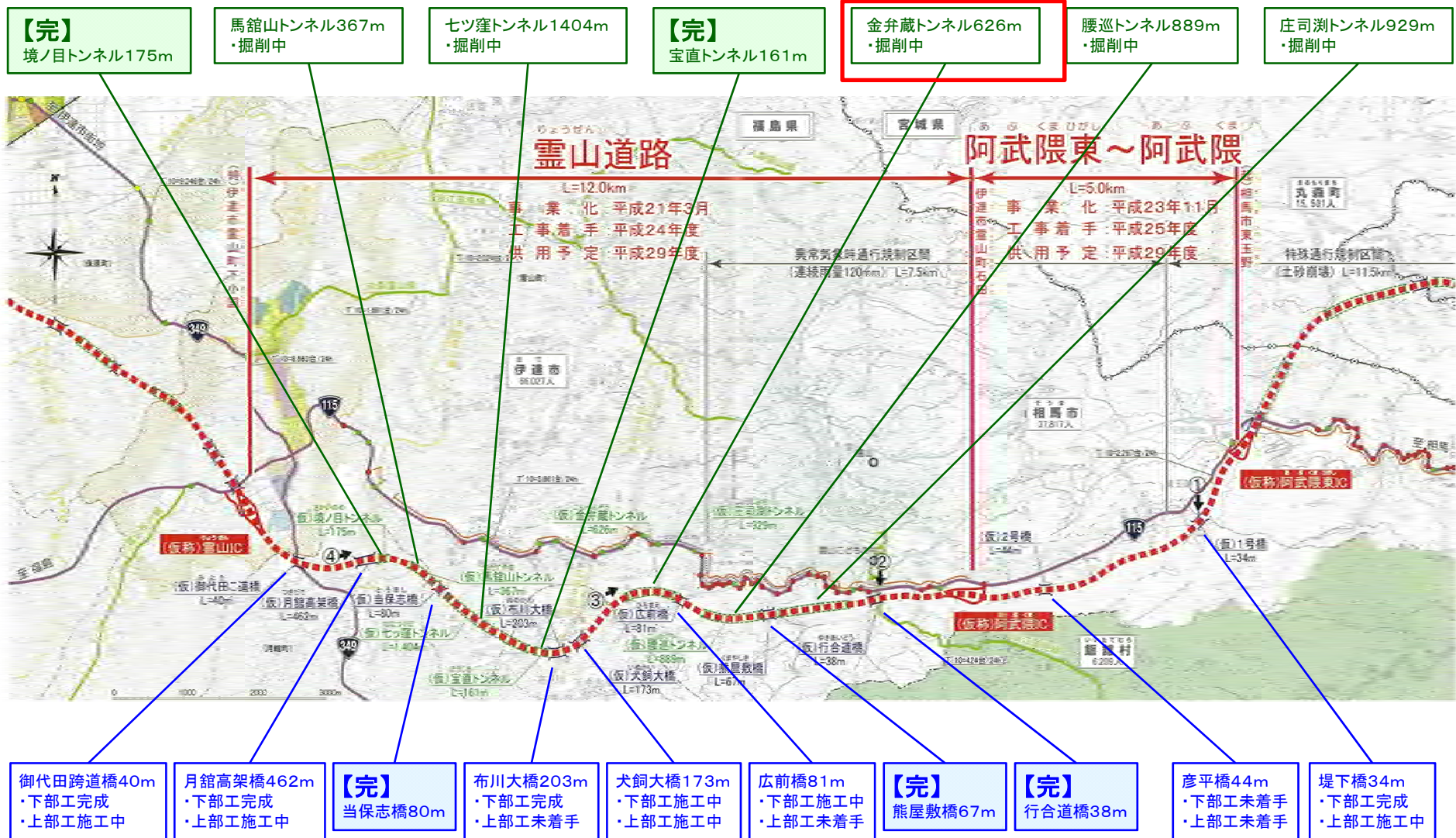
小学校のHPに、「大変貴重なトンネル現場見学会でした。学校に帰ってきてからは、みんなのために働いてくれている方々がいるんだということを全体で振り返り、感謝の心を新たにしました。また、1・2年生は、現場見学会の様子を絵日記にまとめていたようです。」とアップされています。

霊山道路、阿武隈東～阿武隈 構造物進捗状況

霊山道路 ●トンネルは7本中2本完。5本が施工中。
●橋梁は8橋中3橋完。5橋が施工中。

阿武隈東～阿武隈 ●橋梁は2橋中1橋が施工中。1橋は未着手

今回貫通(金弁蔵トンネル)



【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。



国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障



急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)

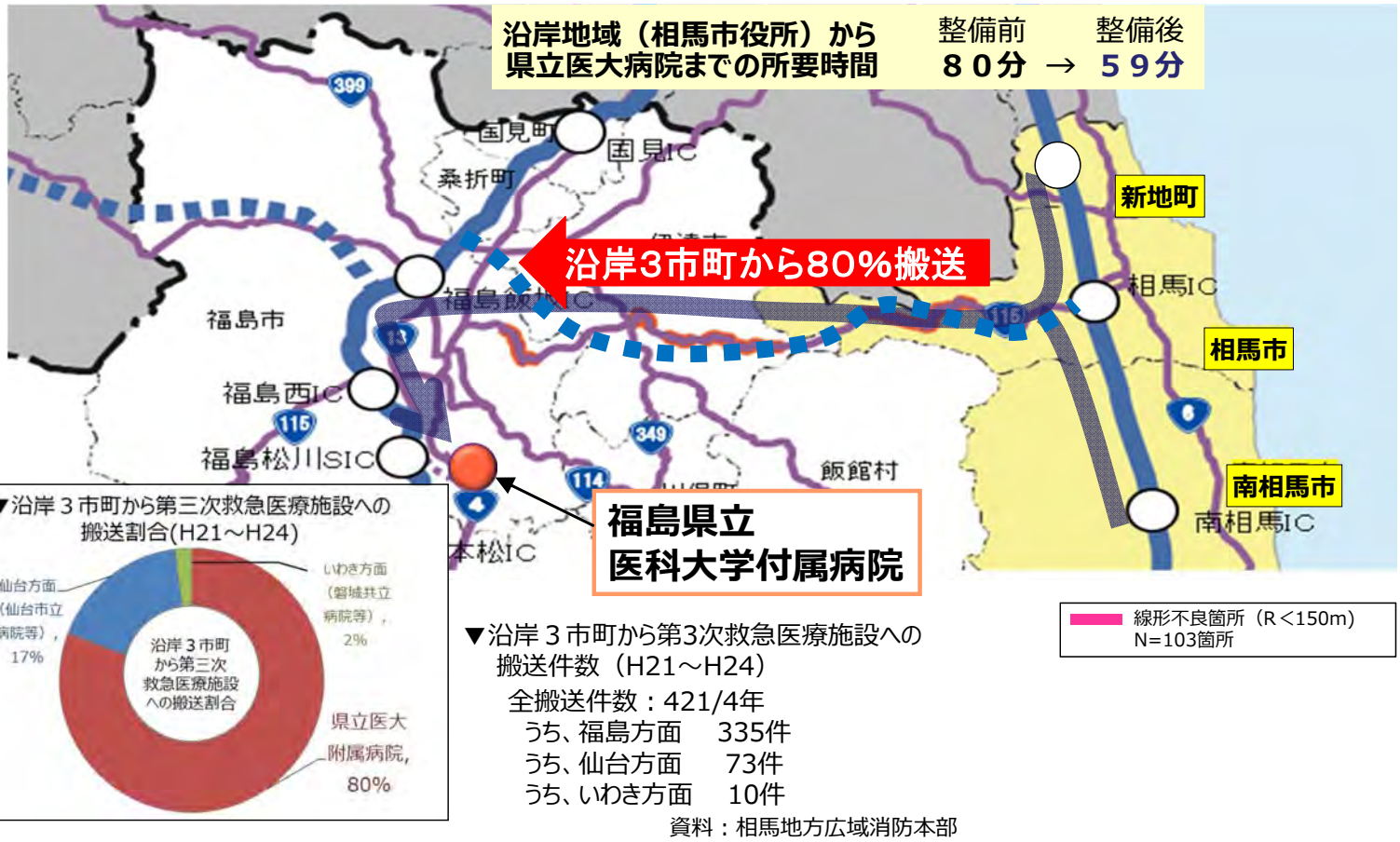


国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止14回/15年)

※H11～H25

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



before

after



相馬港